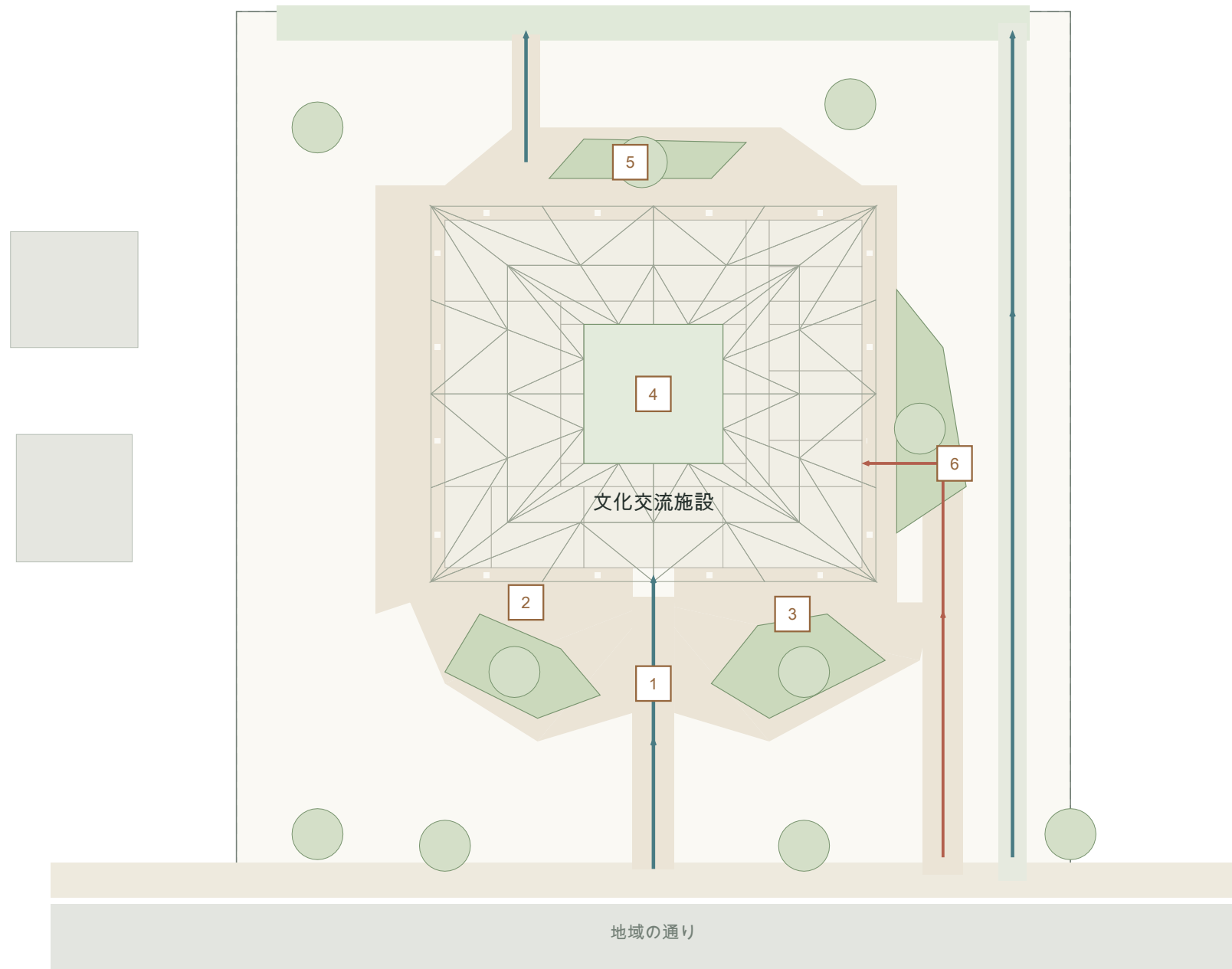
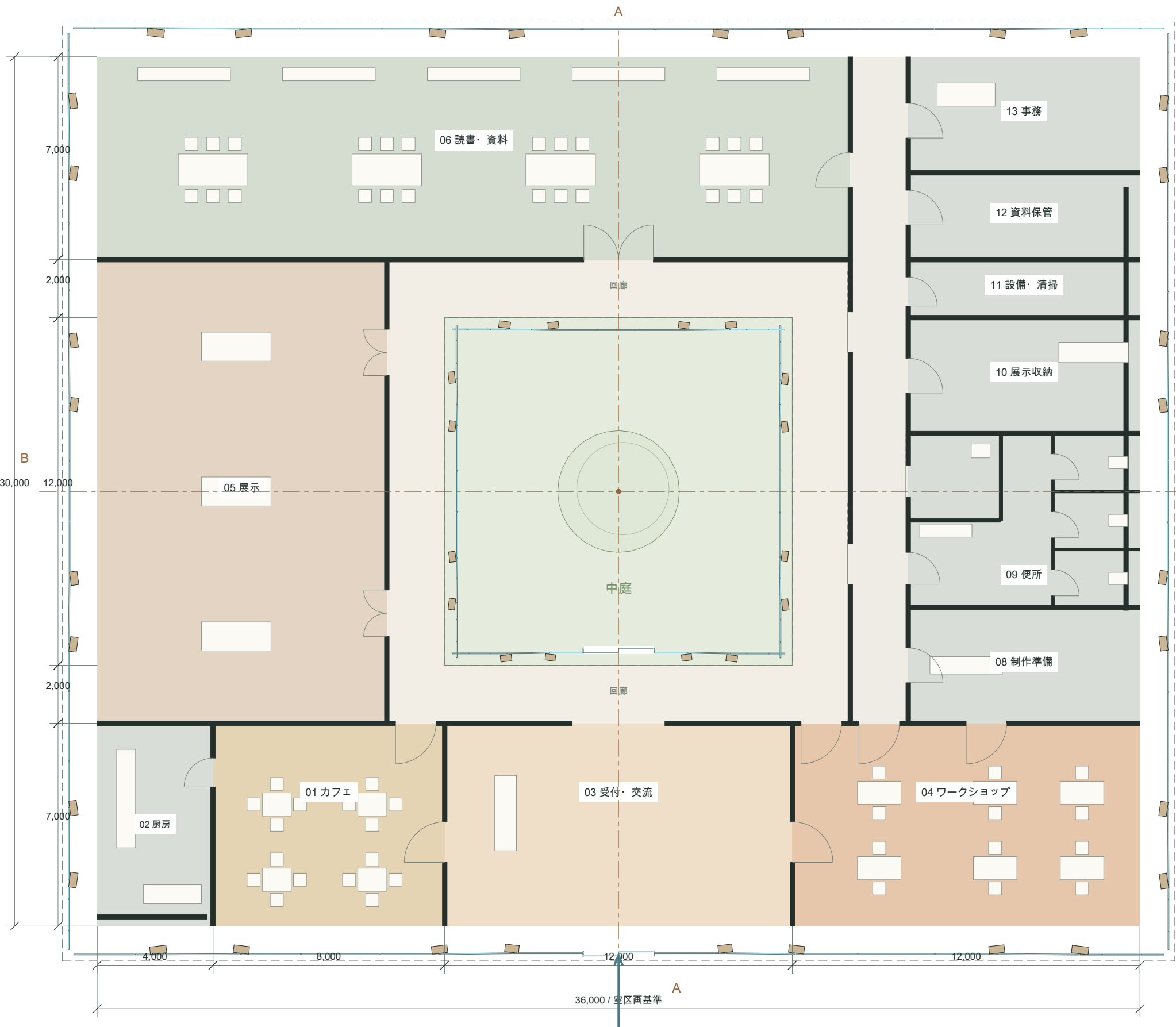


公園・緑の散策路（想定）



住宅地側（周辺建物は配置検討用の仮ボリューム）

01



回廊でつながる施設

正面から受付・交流へ。
展示・読書・制作・カフェを、
中庭のまわりで緩やかにつなぐ。

静けさと活動の距離

読書は庭の奥へ。制作は前庭側へ。
展示は回廊から二か所で出入り。
厨房とカフェを隣接させる。

運営をまとめる東側

収納・便所・設備・事務を集約。
便所前の通路と搬入が重なるため、
搬入時間と外部出入口を調整する。

図面の読み方

太線：壁の切断面
淡青：ガラス、茶：木材
破線：軒先 / A・B：次頁の断面
上方向は仮方向。北は未設定。

外部の副出入口は再調整中。

確定していない開口は表示していません。



寸法は室区画の基準線。傾斜ガラスの位置は切断高さで異なります。外皮更新後の床面積は未確定。

A-A / 入口・交流・中庭・読書



三角屋根が場所をつくる

入口から中庭、読書へと、
光と天井の高さが変化する。
中央は空に開き、四周に回廊。

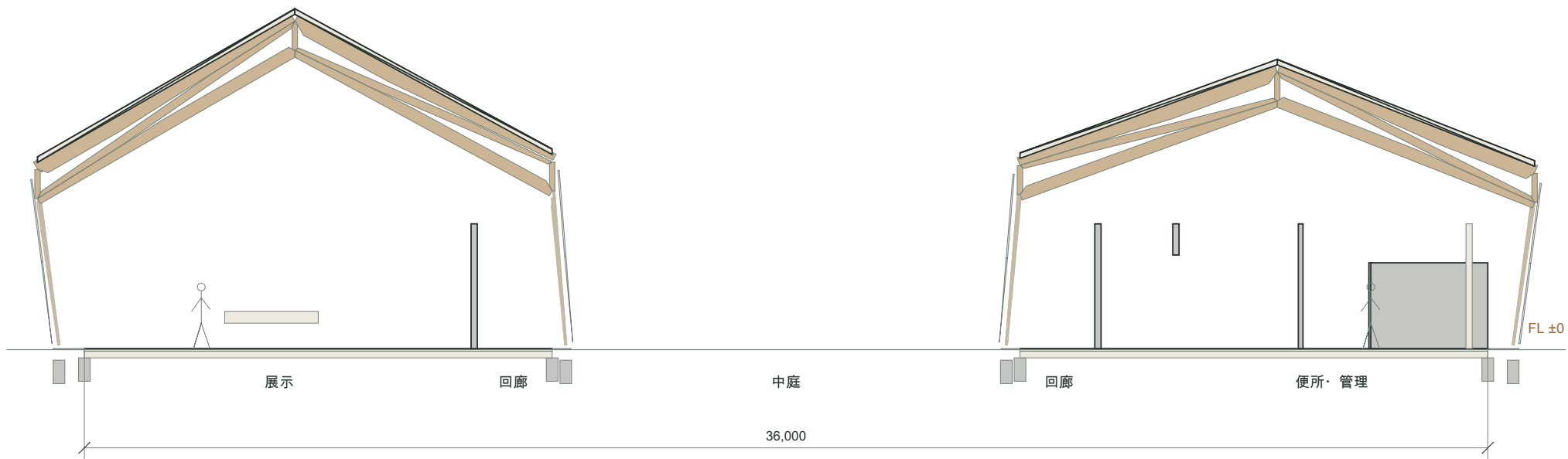
モデルの基準

- 床 FL ±0
- 屋根最高点 FL +9.22 m
- 間仕切り高さ 3.20 m (仮)
- A : モデル X = 18 m
- B : モデル Y = 15 m

切断面をそのまま読む

屋根・壁・床・ガラスは同一モデル。
近傍のV形支持のみ淡い線で投影。
斜材全体の姿は次頁と構成図へ。

B-B / 展示・中庭・サービス

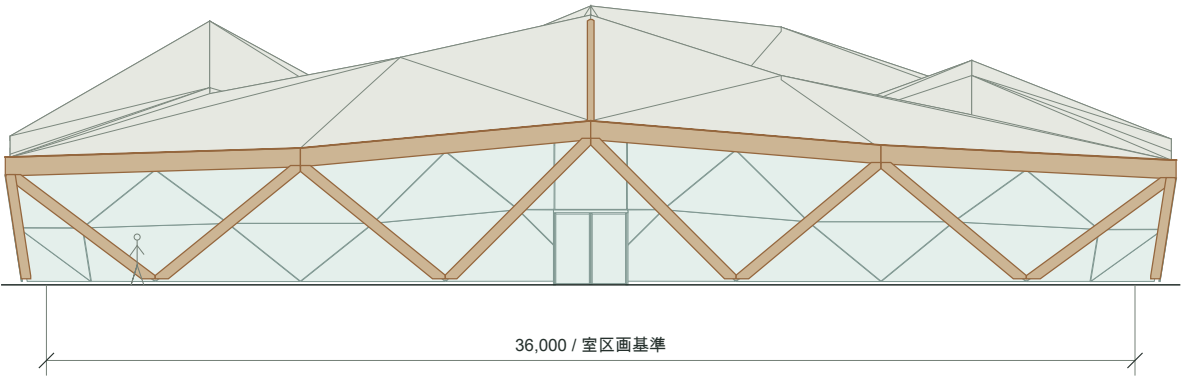


空間の断面を伝える図

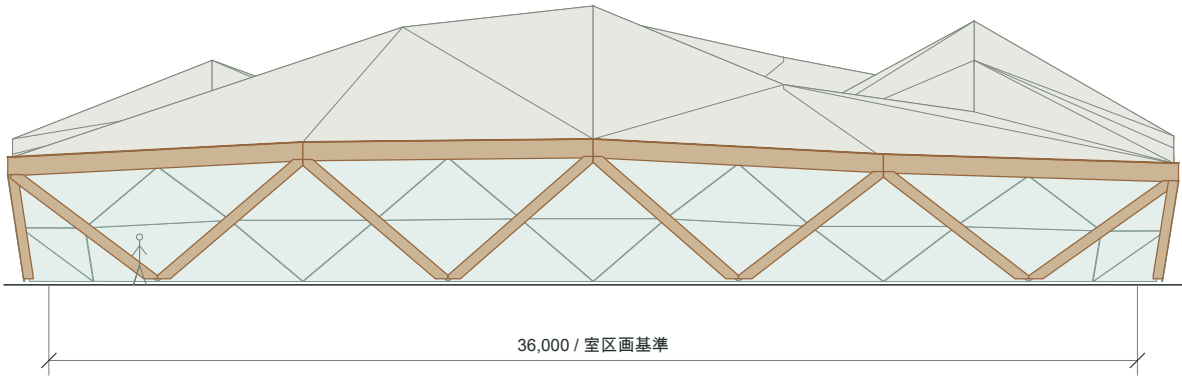
木の部材寸法、基礎、外皮の詳細は
設計検討中。施工用断面ではありません。



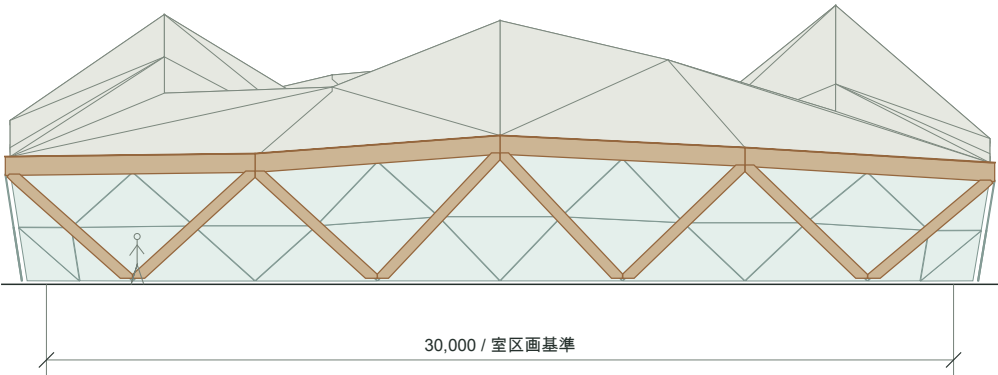
街側 / 1:250



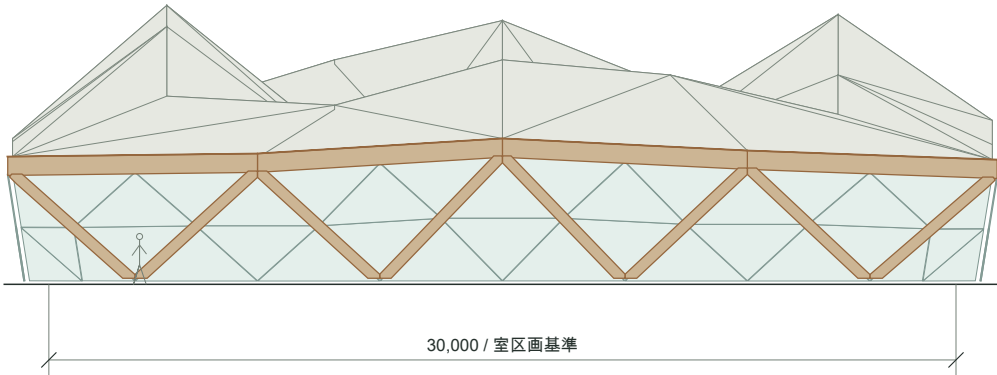
公園側 / 1:250



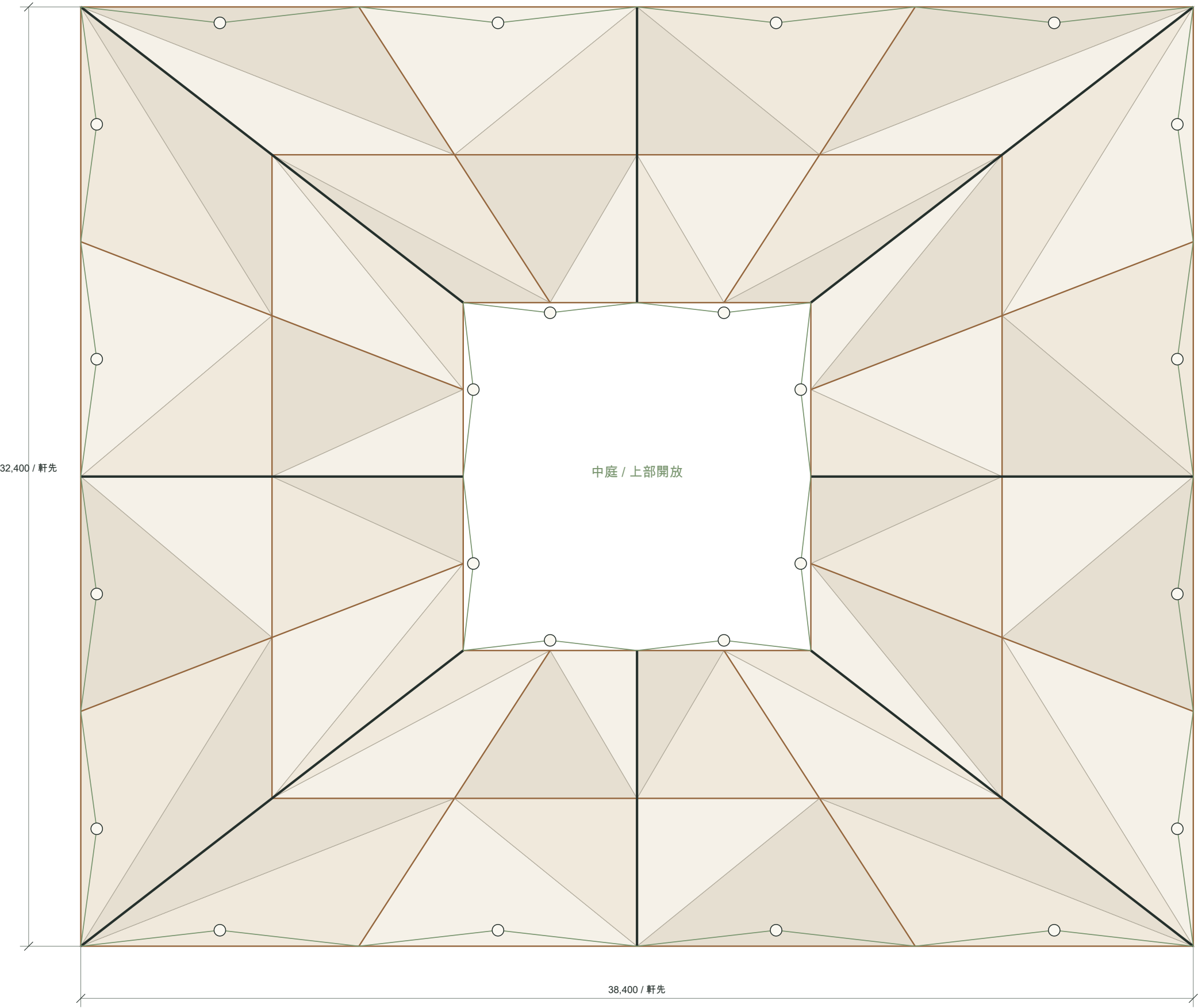
展示側 / 1:250



サービス側 / 1:250



同一モデルを四方向から投影。方位は未設定のため、地域・用途との関係で名称を付けています。



主役は三角の木架構

64面の折れた屋根。
外周と中庭のV形支持が受ける。
放射方向の主架構に深さを持たせ、
大きな空間を包む構成を検討。

線の役割を分ける

黒太線：8列の主架構の位置
茶線：周囲・稜線・主要つなぎ材
細線：三角面を構成する補助材
緑線：V形支持の投影

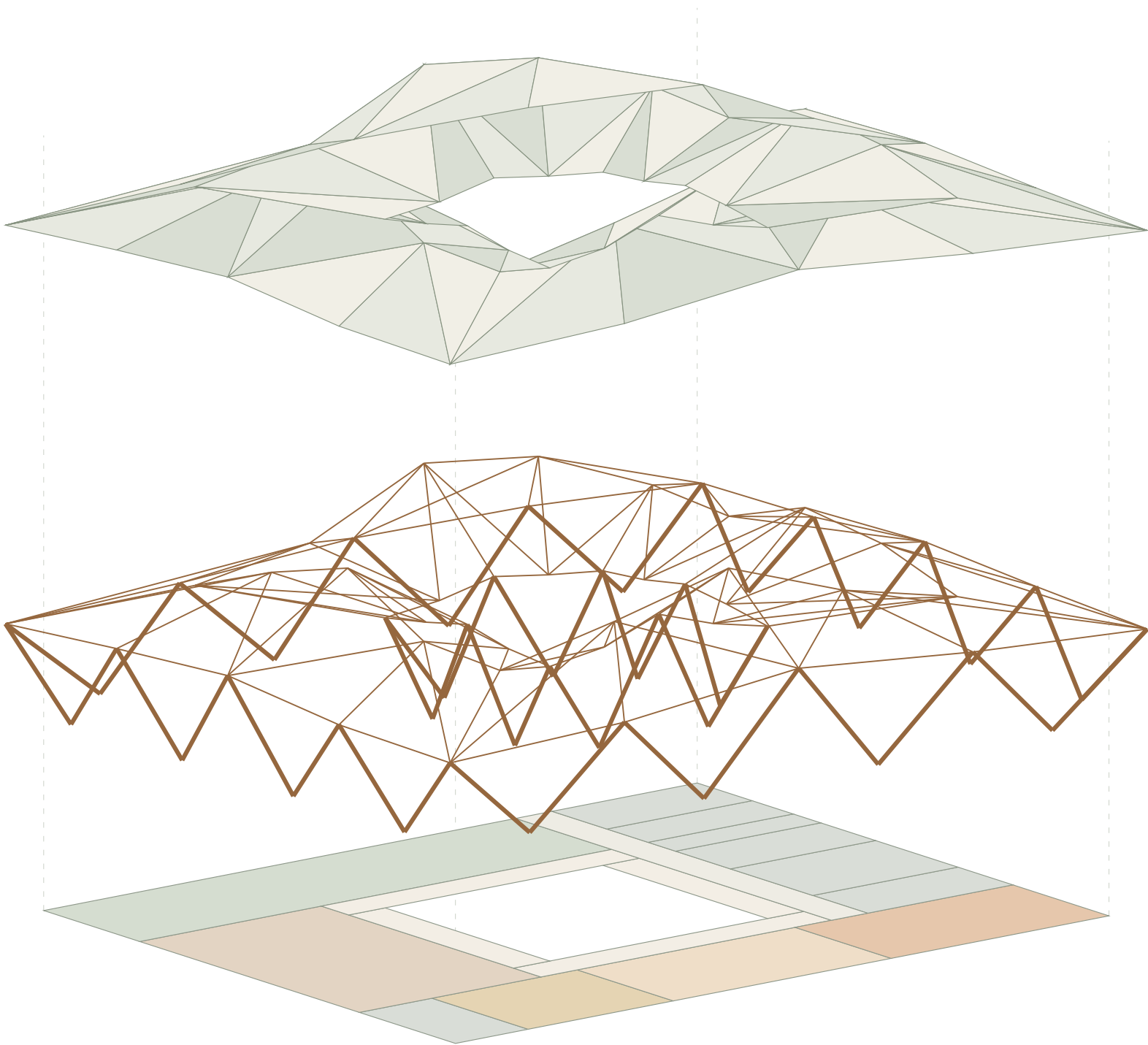
ガラスへつながる構造

ガラス割付も主架構に沿わせる。
構造の三角形と製作の小三角を、
線の太さで読み分ける。

支持点の構成

外周16組 / 中庭8組
主支持は計24組のV形材。
必要断面・接合・耐震性は解析前。





01 / 折れた屋根

外周と中庭を結ぶ64の三角面。
屋根の起伏が各室の天井をつくる。

02 / 木の架構

V形支持と屋根の三角架構。
柱・ 梁・ ガラスの線を揃える。
分解図では外皮を省略しています。

03 / 中庭を囲む居場所

通り側：カフェ・ 交流・ 制作
庭の奥：読書・ 資料
西側：展示 / 東側：運営機能

- | | |
|-----|--------|
| カフェ | 交流 |
| 制作 | 展示 |
| 読書 | 管理・ 収納 |

用途の基準区画：36 m × 30 m

中庭の基準区画：12 m × 12 m

構成を伝えるため高さ方向に分解した模式図。各層の位置関係は元モデルに基づきます。